

(第2号様式)

泡特第 2057 号  
令和6年3月11日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立泡瀬特別支援学校  
校長 田盛 信寿  
(公印省略)

令和5年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年12月12日付け教県第1744号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	令和5年6月20日 10:00~11:30	本校会議室	3名中3名出席
第2回	令和5年12月20日 10:00~11:30	本校会議室	3名中2名出席、1名欠席
第3回	令和6年2月19日 10:00~11:30	本校会議室	3名中3名出席

2 学校評議員に求めた事項

沖縄県立学校学校評議員設置要綱を踏まえ、校長が行う学校運営の内容、進め方に関して意見を求めた。  
・泡瀬特別支援学校の学校経営や各学部の取り組みについて  
・学校保健について  
・PTA活動について  
・支援部の取組について  
・学校評価について  
・進路指導部の取組について

3 学校評議員の意見

・老朽化等の施設や設備の課題は予算に関する事なので、継続して施設課へ要請する必要がある。  
・訪問生や医療的ケア生の校外学習等については、保護者の意識や福祉の拡充が必要である。  
・子どもが主体性を発揮し、卒業後も自分らしく生きていけるような指導と支援を続ける必要がある。  
・働き方改革は喫緊の課題であるが、学校の担っている内容を地域や社会に分担していく考え方が必要である。  
・学校評価を下に教職員へのフィードバック、学校経営の改善に継続して努めることが必要である。

4 学校運営に反映した事項

・不具合のある施設や設備について、施設課と迅速に調整を図り、予算的な優先順位を見定めて対応した。  
・医療的ケアに関する情報発信、保護者の待機緩和に関する取組を推進した。  
・働き方改革に向けた業務の効率化や負担軽減等について、職員の意見を聴取しながら取り組んだ。  
・学校評価の分析等は、職員会議で教職員へのフィードバックして学校経営改善への方向性を示した。

5 課題その他

・業務の効率化や負担軽減等の働き方改革の推進  
・老朽化した施設や設備の改修  
・教職員の指導力向上や校内研修等の充実